

新年のごあいさつ

～ 波高し、されどその先を見つめて～

山陽小野田市長 白井 博文



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、すがすがしい希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、2006年の山陽小野田市には、厳しい難題が待ち受けています。その中でも危機的状況を迎えた財政問題は大きなものの一つですが、更なる報酬の削減や、内部事務経費の徹底的な見直し、費用対効果の視点に基づいたコスト意識の徹底など、職員一丸となって行財政改革に取り組んでいく決意です。そうした中で、今後、市民の皆様にもいろいろとご負担をお願いしなければならない事態も予想されます。その際は、何卒ご理解のうえご協力をお願いいたします。

「まちづくり市民会議」に代表される、昨年、芽生えはじめた市民パワーを更に結集し、より一層、市民と二人三脚のまちづくりをすすめていきたいとも考えています。そして、本年はその市民参加の手法を採り入れながら、「第一次山陽小野田市総合計画」の策定にとりかかり、本市10年後の将来像を具体化する作業に取り組んでいくつもりです。

その他、7月に県立「おのだサッカー交流公園」のオープン、11月には「第21回国民文化祭・やまぐち2006」の開催など、明るい話題も盛りだくさんです。また、3月には「開市1周年」を記念し、何か楽しいイベントができないかと、現在、計画をしているところです。

この一年は、荒波の中、船出した「山陽小野田」丸の真価が問われる年になることでしょう。かじ取りを任された私、そして市職員一同、新たな気持ちで、6万8千の市民のために職務に励んでいくつもりです。市民の皆様におかれましても、更なる飛躍の年となりますようお祈りいたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。